



おくたま農産が試験的に取り組む無線操縦の
ホーバークラフトによる除草剤散布

除草剤散布を省力化

無線操縦ホーバークラフト

千厩 おくたま農産が試験導入

一関市千厩町奥玉の農

事組合法人おくたま農産

(佐藤正男組合長)は、

無線操縦のホーバークラ

フトを用いた水稲用除草

剤の散布を試験的に始め

た。圃場ほしやうに入らずに作業

でき、所要時間も短縮さ

れることから、組合員の

負担軽減と生産性の向上

に期待を寄せている。

これまで同法人では、

田植えと同時に除草剤を

散布したり、手作業で行

ったりしていたが、圃場

全体に均一に散布し除草

効果を高めるとともに、

作業の省力化、効率化を

図ろうと、初めて無線操

縦を導入した。

除草剤の散布は16日か

ら始め、今月末までに同

法人の水稲用圃場(飼料

米を含む)約13.5畝で

実施予定。21日は組合員

が業者の指導を受けなが

ら、同町奥玉字沖中地内

の圃場などで作業を進め

た。

同法人によると、圃場

に入らず畦畔けいはんの位置で作

業に当たれるほか、手作

業と比べて所要時間を3

分の1程度に短縮できる

などのメリットがあり、

大規模圃場であるほど効

果が期待できるといふ。

今後は新しいシステム

を導入した散布も検討し

ており、佐藤組合長は

「農業を取り巻く環境は

厳しいが、さまざまな手

段を活用してコストダウ

ンを図ることで、農業振

興につなげていきたい」と

決意を込めた。